

第4回笠松町議会臨時会議決結果 (8月10日開会 同日閉会)

第35号議案 松枝処理分区(45工区)管渠埋設工事請負契約の締結について

契約金額 109,200,000円

契約の相手方 株式会社加藤組

第36号議案 平成23年度笠松町一般会計補正予算について

補正額 △315,000円

補正後歳入歳出予算額 6,451,035,000円

電算システム変更に伴い不要となる処理業務委託料などの減額、消費生活相談窓口開設(10月)に伴う費用の増額および奈良津堤付近の桜木伐採に係る委託料の増額などの補正。

〔提出議案はすべて可決〕

瑞宝双光章受章

高橋 敏行さん



高橋敏行さん(瓢町)が高齢者叙勲(88歳)の教育功勞で「瑞宝双光章」を受章されました。

高橋さんは、昭和19年に教育の仕事に就いて以来、昭和59年に教員を退職されるまで、地域との結びつきを重視しつつ、児童たちの指導に力を注ぎ快活で明朗な児童・生徒を育成、また教育振興に努力され、優秀な教職員の輩出にも多大な貢献をされました。

退職後は、岐阜県社会教育委員連絡協議会事務局長、岐阜県公民館連合会事務局長などを歴任、その後は笠松町の公民館運営審議会委員、文化財保護審議会委員として、社会教育の振興発展や子どもを大切に育てる地区公民館活動に貢献されました。

廃棄物減量等推進員会議が開催されました



映像による勉強会で熱心に学ぶ推進員の皆さん

7月27日、中央公民館で約200人が出席し、笠松町廃棄物減量等推進員会議が開催されました。

今年度から新たに廃棄物減量等推進員になられた渡邊謹一さんをはじめ、120人の方に広江町長から委嘱状が交付されました。

廃棄物減量等推進員の皆さんには、廃棄物減量化・資源化などのさまざまな施策や地域のごみ問題に対し、リーダー的な役割や町と住民の皆さんとのパイプ役として協力していただいています。

この会議では、町の廃棄物処理の現状や映像による資源リサイクル化の過程について、熱心に学ばれました。

今後も推進員の活動に対し、町民の皆さんのご協力をお願いします。

寄附

東日本大震災 義援金

【レジ袋有料化還元基金寄附金】

マックスバリュ中部(株) 現金 31,906円

町では、ご趣旨に沿うよう活用させていただきます。

7月13日以降、笠松町役場でお預かりしました義援金は次のとおりです。(8月18日現在※敬称略・預かり順)

笠松町生活学校 18,000円 義援金箱 456円